



スペイン  
Spain



## たばこ産業の特徴

- シガレット市場規模は年間910億本（2000年）。
- 1999年秋にSEITAとTABACALERAが合併してできたAltadis社のホームグラウンドであるが（シェア45%、2000年）、PM社の製品が急増している。
- スペインではブロード・シガレットが増え、ダークシガレットが減少している。
- 密輸シガレットが減ることにより正規シガレットは前年に比べて1.8%増になった。
- シガレットにEU税制調和にもかかわらず、スペインのシガレットの小売り価格は他のEU諸国に比べて平均15%安い。

## [1] 法規制等

### 警告文：

EU諸国に合わせてスペインは1992年6月3日にたばこのラベル規制を発令した。これにはタール、ニコチンの規制値と新健康表示が含まれている。

「喫煙は貴方の健康を著しく損なう」という現在の警告表示の他に、パッケージには6種類の新しい健康警告表示のうちの一つを載せなければならない。

### 成分規制：

ニコチンの最大含有量は1.3mg。1993年からタール含有量は15mgに、1998年には12mgに制定された。

少なくともタールとニコチン含有量を包かに記載する必要あり。

喫煙場所の規制：学校、一般人がアクセスできる政府建物、病院、公共輸送機関、劇場、映画館、エレベーターは禁煙。職場、公共の場所での喫煙は制限されている。

（禁煙区域は喫煙の煙で汚染されないようにしなければならない）。

国内線は全面禁煙。

他の公共輸送機関は喫煙が制限されている。

### 広告規制：

公共の輸送機関、公共の建物、メディア・タイプの広告は禁止。

2006年からたばこ企業のスポンサーは禁止。

POP広告、サンプリング、スポンサーは許されているが制約がある。

### 販売の規制：

特定の場所でのたばこ販売禁止。

未成年者への販売禁止。

スモークレスたばこの販売は禁止。

自動販売機は許可されているが、国の法律と規制が販売を統制している。

### （反喫煙運動の最近の動向）

訴訟もイベリア半島に押し寄せているが、裁判ではAltadisが勝訴した。

現在PM、JTIの裁判が行われている。2001年1月31日に4,300名の集団訴訟が起こされた。

## [2] 税制

税金はEU諸国の中でも2番目に低い国であったが、1995年1月にEU諸国との税制統一のために大幅に税金が上がった（高価格帯ブランドで11%アップ）。

### 最も一般的な製品の小売り価格に対する税率(ERC, 1999)

従価税	54.00%
付加価値税	13.79%
特別税	2.85 ドル/1,000本
小売り価格に対する税率	71.20%
関税：ウルガイ協定とは別に、EU域外からのたばこ製品の関税を下げようとしている。	

### 2000年末現在の関税率

シガレット	57.60% (1999年は68.4%)
葉巻	25.00% (1999年は34.7%)
パイプたばこ	74.90% (1999年は88.9%)

### [3] 喫煙者プロフィール

16歳以上の喫煙者率（1997年）

男性 42.1%  
女性 24.7%

年間シガレット消費数量

	1970年	1980年	1990年	1995年	1997年
年間1人当たり本数	2,243本	2,688本	2,427本	2,468本	2,364本
消費指数1970 = 100	100	113.1	112.7	111.3	108.2
合計数量(100万本)	54604	74087	76901	81797	79234

（出典 tcrc European Tobacco Control Country Profiles Database 2000）

### [4] 市場概要

- 喫煙者の好みの変化により、アメリカン・ブレンドの販売数量は2000年に5.1%増の700.6億本。  
（シェアは76%、10年前は50%）  
ダーク・シガレットは1999年の4%減の215億本であった。  
アメリカンブレンド・タイプの消費が増える反面、ダークシガレットの減少が続いている。
- 外国企業（その多くはPMであるが）の激しい攻撃にもかかわらず、スペイン市場は依然としてAldadisのホーム・グラウンドで試合をしているようなものである。  
しかし、Aldadisは前年に比べて2%シェアを失い、2000年のトータル・シェアは45%に低下した。
- PMはアメリカンブレンドの人気の伸びのために、2%シェアを伸ばして31%になった。  
JTIは8%で第3位、次いでBATが6%。
- EU加盟国の税制調和のために、2000年に小売価格が5～10%値上げされた。  
しかし、他のEU諸国に比べてスペインのシガレット小売価格は平均15%安い。
- シガレットの価格上昇のためにスペイン市場で密輸が増え、特にWinstonやMarlboroのような高価なブランドの密輸が多い。  
しかし密輸対策が効果を上げて、2000年のアメリカン・ブレンド・シガレット市場の推定2.6%にまで密輸を減らすことができた。  
これが正規製品の販売増加に寄与した。
- シガレットの輸入はEUブランドや非EUブランドの増加のために増えている。  
スペインのシガレット製造は輸入増加の影響を受けて減少している。

スペインのシガレット統計データ（出典 Gain Report、単位：百万本）

	1999年	2000年	2001年
フィルタ付き	71,553	69,982	68,949
フィルタ無し	1,610	1,574	1,551
合計製造数量	73,163	71,556	70,500
輸入数量	21,294	25,175	26,000
輸出数量	4,515	5,133	5,500
国内消費数量	89,942	91,598	91,000

主要国際企業のスペイン市場でのシェア（市場規模 約910億本、出典 TJI 6/2001）

PM 31.30% Marlboroファミリー、Chesterfieldファミリー、L&M  
JTI 8.20% Winstonファミリー、Camelファミリー、Gold Coastファミリー  
BAT 6.30% Lucky Strilkesファミリー、Golden American、Pall Mallファミリー

### [5] 製品概況

[シガレット]

- アメリカン・ブレンドのセグメントではAldadisのFortunaがトップであるが、2%シェアを落として27%になった
- ダーク・シガレットでは、Aldadisのグループがシェアを守っている。Ducadosがこのセグメントの75%を占めて
- 2000年にAldadisは若者向けに25本入りのFortuna 25を発売。価格は2.04ユーロ。

アメリカンブレンド・タイプのシェア

ブランド	1999年	2000年
Fortunna	29%	27%
Marlboro	18%	20%
LM	11%	10%
Chesterfield	10%	11%
Winston	5%	5%
Lucky Strike	5%	5%
Nobel	5%	5%
Camel	4%	4%
Goald Coast	2%	2%

ブランド別シェア（%）

	1996年	1997年	1998年
アメリカンブレンド	69	69	72
ダークシガレット	31	31	28

20本入りシガレットの平均価格（EIU,1999）

国産ブランド	1.26 USドル
外国ブランド	2.30 USドル

シガレットの価格別シェア (%)

	1996年	1997年	1998年
高価格群	25	24	26
中価格群	34	35	36
低価格群	10	10	10

#### 【葉巻】

- スペインの葉巻の年間消費本数は1998年で8億5,530万本。Altadisの長い間のベストセラーFariasが26%のシェアでトップ、次いでCalypso (20%)、Entrefinos(9.8%)である。
- 2001年上半年期には4.46%増の4億9,500万本売れた。機械巻きが4億6,800万本を占めている。Altadisは機械巻きセクターでは同期間に41.7%のシェアを得てトップである。手巻きではCorporac Habanosが59%のシェア。

#### 【6】小売り・流通

- Altadisはスペイン市場でたばこ製品の大部分を流通販売している。小売り販売は政府に属するたばこショップ(Estancos)で販売されている。公共の場所での販売は政府が管理している自動販売機で行われている。Estancosから供給されるバーや新聞スタンドでも販売されている。
- 1999年秋にSeitaとTabacaleraが合併してAltadis社を設立した。Altadisはスペインに52,000店、フランスに35,000店、ポルトガルに13,000店を含む、広い流通網を有している。同グループは約20ヶ国に進出しており、スペイン、フランス以外から約1/3の収入を得ている。
- 1999年に出された新しいたばこの販売法は、既存のたばこ製造独占、非EU諸国からのたばこ製品の卸売りの輸入、流通の独占を廃止するよう求めている。しかしこれらのたばこ製品の輸入、流通には政府の許可が必要である。小売り販売は、たばこショップ(Estancos)の政府ネットワークに制限されるという制約は続く。
- 子会社のLogistaを通じてAltadisは実質的にスペインのシガレット流通を全面的に保持している。独立系のたばこ流通会社McLaneはAltadisに対してこの独占状態を止めるように提訴している。Altadisグループはスペインでは新聞、雑誌、本の一次卸し業者である。

#### 【7】企業情報

##### Altadis :

- 1999年秋にSeitaとTabacaleraが合併して設立された。西ヨーロッパでは第3位。Seitaが60%、Tabacalera19%の株式比率で設立。事業本社はパリ、登記本社はマドリッドにある。
- 国内製造をスリムにするために、Altadisは慎重なリストラとコスト削減を開始した。これにはスペインにある14工場のうち8工場の閉鎖が含まれている。これらの工場には100年以上の歴史がある工場もある。マドリッド工場は2000年6月末に閉鎖された。アリカンテ、セビリヤ、ログローニョのフィルタ製造工場も統合される。またアリンカンテとカンタブリアに近代的製造工場を建設している。
  - AltadisグループはスペインのトップブランドFortunaを海外市場への販売を増強しようとしている。
  - ライセンス契約の改訂：EU規制に従うために、AltadisとPMは、MarlboroとL&Mのスペインでのアンダーライセンス契約の改訂で合意した。これによりMarlboroは2004年まで、L&Mは2003年までライセンス製造される。2001年から2003年までL&Mブランドは年間10億本製造を減らす(1999年の需要は72億本)。Marlboroは2002年から現在の年産71億本から、製造を15億本減らす。スペインでのアンダーライセンスが将来とも残るかは不明である。なぜならPMはスペイン市場全体への供給を、他のヨーロッパ諸国で製造したシガレットに切り替えるかもしれないからである。AltadisとJTIのWinston、Camel、Gold Costブランドのライセンス製造は2000年に終了している。

##### メーカー別シェア

メーカー	1999年	2000年
Altadis	48%	45%
Philip Morris	29%	31%
JTI	8%	8%
BAT/Rothmans	6%	6%
CITA	5%	5%
その他	4%	5%
計	100%	100%

注：CITAはReemtsmaとSeitaの合併会社である。

## [8] スペインの葉たばこ概況

2000年の葉たばこ（黄色種とバーレー種）の生産量は乾物で34,654トンであった。

（グリーン葉で42,250トン）

国内生産量は比較的高いが、スペインは高品質の葉たばこを輸入に依存しており、2000年には同国が必要とする同原料の90%を輸入している。

スペインの2000年の葉たばこ輸入は前年の45,556トンから58,445トンに増えている。

ブレンド原料の輸入は、PMやJTIとのアンダーライセンスの中止や修正により減少している。

生産は黄色種とバーレー種が主体。生産量はEUがスペインに保証している最低限数量の42,300トンに近づいている。

EUの支持価格は黄色種でトンあたり2,709ユーロ、バーレー種で2,167ユーロ。EU評議会の葉たばこ規制により、スペインの葉たばこ政策は統制されている。

国内には4つの葉たばこディーラーがある。Altadisと国が所有しているCetarsaが中心。

その他にAgroexpansion/Dimon、World Wide Tobacco/Standard、Taes/Universal Leaf。

葉たばこ統計データ（単位トン、出典USDA）

	1998年	1999年	2000年
生産量	34,686	34,686	34,686
輸入量	61,183	45,556	52,000
輸出量	19,958	24,250	20,100